

## 2.2.2 第4回プログラム開発委員会

- 日時: 2015/07/28(火) 15:30-17:30
- 場所: 産業技術大学院大学 269 室
- 出席者
  - (産業技術大学院大学委員)
  - 川田 誠一 氏(産業技術大学院大学 産業技術研究科長 創造技術専攻 教授)
  - 小山 裕司 氏(産業技術大学院大学 附属図書館長 情報アーキテクチャ専攻 教授)
  - 酒森 潔 氏(産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻長・教授)
  - 國澤 好衛 氏(産業技術大学院大学 創造技術専攻長・教授)
  - 越水 重臣 氏(産業技術大学院大学 研究科長補佐創造技術専攻 教授)
  - 戸沢 義夫 氏(産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻 教授)
  - 陳 俊甫 氏(産業技術大学院大学 創造技術専攻 助教)
  - 佐々木 信夫 氏(産業技術大学院大学 特任教授)
  - (外部委員)
  - 平山 敏弘 氏(日本 IBM 株式会社 上級 IT スペシャリスト)
  - 小内 克彦 氏(株式会社東芝 営業統括部 デジタル・マーケティング推進室室長 兼 デザインセンター 参事)
  - 大久保 雅司 氏(NEC マネジメントパートナー株式会社 人材開発サービス事業部 シニアエキスパート)
  - 佐藤 学 氏(サイボウズ株式会社 ビジネスマーケティング本部 BPM 部 アライアンスマネージャー)
  - 日下 康幸 氏(株式会社アストロ数理ホールディングス 代表取締役社長)
  - 花田 徳康 氏(メドコネク株式会社 代表取締役)
  - 鴻巣 英典 氏(mediba 株式会社 新規事業企画部 部長)
  - 釦持 勝 氏(イー・リポート 代表)
  - 井手田 信 氏(日本IBMシステムズ・エンジニアリング株式会社 アドバイザリー・アーキテクト)
- 議事内容
  - 《事業アーキテクトコース関連科目の履修状況等の報告》
  - 平成 27 年度第 2 クォータ開始時における事業アーキテクトコース関連科目の履修状況が確認された。履修者数が一定以上認められることから、関心のある学生が少なからず存在すると推測された。

#### 《第2回 AIIT 起業塾開催の報告》

- 平成27年7月12日(日)に開催した第2回 AIIT 起業塾について報告があった。
  - ・ 今後は SNS や Web サイト等を活用し、一層の周知を行うことが確認された。
  - ・ 委員からは、敷居を低くし、誰でも参加できる場とするとともに、起業塾を通じて参加者の交流の場ができるとよく、例えば参加者を「塾生」として管理し、イベントの告知等を行うとよい、等の意見が出された。

#### 《第1回ケースメソッド教授法セミナー実施の報告》

- 平成27年7月17日(金)に開催した第1回ケースメソッド教授法セミナーについて報告があった。引き続き第2回、第3回を実施する予定であることが確認された。

#### 《アンケートについて》

- 当事業に関連するアンケートを作成中であり、今後実施する予定であることが確認された。対象者は以下を想定している。
  - ・ 社会人学び直し推進委員会委員およびプログラム開発委員
  - ・ 在学生(第2クォータ終了時を目処に実施予定)
  - ・ 起業塾参加者 等
- 委員からは、女性に対してもアンケートを実施するとよい、等の意見があった。

#### 《平成28年度実施のPBLについて》

- 事業アーキテクトコースで実施する教育プログラムの一環として平成28年度に実施予定のPBLについて、その構成案等を確認した。今後も引き続き検討を行うことが確認された。

#### 《その他》

- 当事業全体について、委員から次のとおり意見があった。
  - ・ 学生の生の声を聞くため、授業アンケートの実施や委員と学生の意見交換会の実施等を検討されたい
  - ・ 起業等を学ぶためには、採算性に対する意識も教えていただきたい
  - ・ 起業のみならず、今は大企業の中でもベンチャーを立ち上げる意義がある
  - ・ リーダーマインド、起業家マインドを引き出す方法を学べるとよい
  - ・ 限られた科目だけでなく、できるだけ多くの授業を受けられる工夫があるとよい
  - ・ 授業において、アイデアソン的な手法を取り入れることも有効と思われる

### 2.2.3 第5回プログラム開発委員会

- 日時:01/14(木) 13:00-15:00
- 場所:産業技術大学院大学 308 室
- 出席者:
  - (産業技術大学院大学委員)
  - 川田 誠一 氏(産業技術大学院大学 産業技術研究科長 創造技術専攻 教授)
  - 小山 裕司 氏(産業技術大学院大学 附属図書館長 情報アーキテクチャ専攻 教授)
  - 酒森 潔 氏(産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻長・教授)
  - 越水 重臣 氏(産業技術大学院大学 研究科長補佐創造技術専攻 教授)
  - 戸沢 義夫 氏(産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻 教授)
  - 松尾 徳朗 氏(産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻 教授)
  - 亀井 省吾氏(産業技術大学院大学 特任准教授)
  - (外部委員)
  - 平山 敏弘 氏(日本 IBM 株式会社 上級 IT スペシャリスト)
  - 小内 克彦 氏(株式会社東芝 営業統括部 デジタル・マーケティング推進室室長 兼 デザインセンター 参事)
  - 大久保 雅司 氏(NEC マネジメントパートナー株式会社 人材開発サービス事業部 シニアエキスパート)
  - 上野 新滋 氏(FUJITSU ユニバーシティ エグゼクティブ・プランナー)
  - 日下 康幸 氏(株式会社アストロ数理ホールディングス 代表取締役社長)
  - 花田 徳康 氏(メドコネット株式会社 代表取締役)
  - 飯尾 淳 氏(中央大学文学部 社会情報学専攻 教授)
- 議事内容
  - 《PBL キャンプ実施報告》
  - 平成 27 年度実施している集中型の PBL キャンプについて、12 月 19 日(土)の趣旨説明会及び12月25日(金)から12月27日(日)までの合宿に関する報告を行った。東京オリンピック・パラリンピック招致を契機に、地域の活性化に関するテーマを扱い、合宿時は参加者が積極的に課題解決に取り組み、様々な解決策が提起された。
  - ・ 外部委員からは、実施スケジュールについて工夫するなど、教育効果を高めるために次年度に向けて更なる改善を検討するとよいという旨の意見が出た。

#### 《平成 27 年度ワークショップ開催》

- 平成 28 年 1 月 29 日(金)に開催予定のワークショップについて実施予定である。今回は「専門職大学院における高度人材育成のための教育手法」をテーマとしており、前回は教育内容に関するものであったのに比べ、より深く掘り下げた内容を想定している。当委員会の飯尾委員が講演予定であり、委員に参加を呼びかけた。

#### 《AIIT 起業塾開催状況》

- 平成 27 年 11 月 1 日(日)に開催した第 3 回、及び 12 月 20 日(日)に開催した第 4 回の開催報告を行った。第 3 回は「医療×IT」、第 4 回は「観光×IT」をテーマとし、当委員会委員にも講演いただき、盛況のうちに終了した。また、平成 28 年 1 月 31 日(日)に開催予定の第 5 回の案内を行った。今回は「地域活性×IT」をテーマとしており、委員にも参加を呼びかけた。
  - ・ 外部委員から、テーマが興味深いため、広報を更に効果的に行うことで、一層の集客を見込めるとの意見や、テーマを一過性で終えるのではなく、繰り返し同じテーマを扱ってもよい、等の意見が出た。また、イベント当日は、参加者に発言させたり、参加者同士に交流してもらうなど、相互交流の機会があると望ましいとの意見が出た。

#### 《平成 27 年度ケースメソッド教授法セミナーの開催》

- 平成 27 年度第 4 回のケースメソッド教授法セミナーを平成 28 年 2 月 18 日(木)に開催する旨を案内した。

#### 《事例研究型授業の実施》

- 既に実施したセミナー等の内容を踏まえ、平成 27 年度に「事業アーキテクチャ研究」及び「事業アーキテクチャ設計」という 2 つの事例研究型科目を実施している旨を報告した。

#### 《平成 28 年度カリキュラムについて》

- 平成 27 年度に実施した関連科目の履修者数、評点別成績内訳及び履修学生によるアンケート結果を確認した。平成 28 年度もカリキュラムを大きく見直す必要はなく、概ね継続していくべきことを確認した。
  - ・ 外部委員からは、アンケートにおいて、学生の学修意欲が高いことが特徴的であるとの意見が出た。
  - ・ 事例研究型科目について、平成 28 年度はチーム編成や実施スケジュール等について更なる改善の余地がある、との意見が出た。

#### 《平成 28 年度新設予定科目》

- 平成 28 年度に創造技術専攻において新設予定の科目について、意見交換を行った。コンセプトデザインについて、カリキュラムに取り入れることの有用性を確認した。
- ・ 外部委員からは、コンセプトデザインには様々な流儀があるため、その全てを一つの科目で網羅しようとするのではなく、多くある中の一部を学修することにより、その他についても自ら学修するための力を修得させるとよい、という旨の意見が出た。

#### 《平成 28 年度 PBL》

- 平成 28 年度から開講する事業アーキテクトコースの PBL について、意見交換を行った。
- ・ 委員からは、専攻間の連携や、外部企業との連携等が行われると効果的であるとの意見や、当コースを通じて実際に新規事業等を立ち上げるなど、一定の成果が現れるとよい、との意見が出た。

#### 《その他》

- 平成 27 年度に外部評価委員会を開催し、当事業に関して外部者から評価を受ける予定との通知を行った。主に当事業の進捗状況に焦点を当てて評価を受ける予定であり、現在委員を選定中である旨を報告した。

## 2.3 学内定例会議

### 2.3.1 学内定例会議#6

- 日時: 2015/04/24(金) 15:00-16:00
- 場所: 産業技術大学院大学 259 室
- 出席者
  - 川田 誠一 氏
  - 小山 裕司 氏
  - 酒森 潔 氏
  - 國澤 好衛 氏
  - 佐々木 信夫 氏
  - 文屋 宏 氏
- 次第
  - 事業成果報告書の修正および最終版の作成について
  - プログラム作成に向けた諸事項について
  - 事業アーキテクトコース説明会の報告
  - その他

### 2.3.2 学内定例会議#7

- 日時: 2015/05/26(火) 15:00-16:00
- 場所: 産業技術大学院大学 259 室
- 出席者
  - 川田 誠一 氏
  - 小山 裕司 氏
  - 酒森 潔 氏
  - 國澤 好衛 氏
  - 佐々木 信夫 氏
  - 文屋 宏 氏
- 次第
  - 平成 27 年度委員会の開催日程について
  - AIIT 起業塾の開催について
  - 教員研修(慶応義塾大学ビジネススクール等)について
  - アンケート(委員、在学生、修了生、外部・一般)